

関西協会ニュース

2003 年 11 月 15 日発行 第 36 号

『NPO 法人関西骨髄バンク推進協会発足のご挨拶』

NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会
理事長 正岡 徹

関西骨髄バンク推進協会が多くの関係者の協力によって NPO 法人となりました。これまでに比べて活動基盤が強化され、信頼性がたかまると同時に責任もまし、心新たに仕事をすすめたいと思っています。骨髄バンク事業は行政、財団、日本赤十字社、医療関係者、ボランティアなどがお互いに協力しあってはじめてうまく進んでいくものと考えています。骨髄バンクへの支援、ドナー登録支援、普及広報活動、チャリティー募金、などにくわえて、移植患者への支援活動も重要となってきました。協会の関係者はみな気持ちのよい善意にあふれた人たちばかりです。



今年京阪さい帯血バンクも発足しました。血液病の患者さんのために働きたいという気持ちは同じです。お互いに協力して助けを必要としている人たちの役に立ちたいと思います。おそらく将来はこのような細胞移植を支援するような組織が整理統合され、細胞治療と言う名で患者と医療チームと社会全体が協力しあうような体制がくみ上げられるようになって考えていますが、それまでにはまだ時間がかかると思います。われわれの分担する部分は小さいのですが重要な部分です。難病から幹細胞移植で回復されたひとたちをみることを大きいはげみとして今後も地道な努力を続けていきたいと思っています。



『NPO 法人格取得をお祝いして』

財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 高久 史磨

特定非営利活動法人いわゆる NPO 法人格のご取得、誠にありがとうございます。

貴協会は平成 4 年 10 月 17 日設立されて以来、これまで骨髄バンク事業の充実発展とその働きの普及啓発及びその支援をはかることを目的として活動をなされてこれ、このたび、その活動の集大成として、NPO 法人格を取得されたという輝かしい成果をあげられたことに対しまして深く敬意を申し上げる次第です。

さて、当財団もおかげさまで、平成 3 年 12 月発足から 11 年が経過し、本年 8 月のドナー登録者数は 17 万人余、非血縁者間の骨髄移植実施数は 5,000 例を超えることができました。

これらの実績は、私どもの努力のみならず、もとより多くの善意の国民の皆様からのご理解ご協力と、そして貴協会の皆様方をはじめとする各地のボランティアの方々等のご支援の賜物によるものであり、この場をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。

私どもは、今後とも骨髄バンク事業を充実し、ひとりでも多くの患者さんの骨髄移植が実現できますよう、ドナー登録 30 万人の目標実現に向け普及広報をより活発化し、ドナーの安全を前提にしつつ、コーディネート活動の一層の迅速化、国際協力の推進に努めてまいります。

終わりになりますが、引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げますとともに、貴協会のますますのご発展と皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

大阪府健康福祉部長 納谷 敦夫

NPO 法人関西骨髄バンク推進協会設立おめでとうございます。

1992 年 10 月に関西骨髄バンク推進協会が任意団体として設立されて以来、11 年の長きにわたり、骨髄バンク事業の充実のための普及啓発と支援活動に努めてこられましたことに深く敬意を表しますとともに、この度より多くの血液難病患者等が病を克服し、復帰できるやさしい社会づくりを目的として NPO 法人格を取得されましたことを心からお祝い申し上げます。

この間、わが国の骨髄バンク事業は、30 万人のドナー登録にむけて様々な取り組みがなされ、本年 8 月には、骨髄バンクを介した非血縁者間の骨髄移植実施数が 5,000 例を超えました。

大阪府におきましても府下 4ヶ所の府民健康プラザでの骨髄ドナー登録受付をはじめ、休日集団ドナー登録会、献血併行型ドナー登録会を開催するなどドナー登録者の確保に努めてまいり、本年 9 月にはドナーとして 9,894 名もの皆様のご登録をいただきました。これもひとえに貴協会をはじめ骨髄移植推進財団、日本赤十字社等のご協力の賜物と存じます。

これまで骨髄バンク事業の推進に積極的な活動を展開してこられた貴協会が NPO として法人格を取得されましたことは、その活動基盤がより一層充実されるとともに、今後の骨髄バンク事業の推進にとって誠に意義深いことであると心から慶んでおります。

今後の NPO 法人関西骨髄バンク推進協会の益々のご活躍とご発展を祈念するとともに、善意の骨髄バンク事業への理解がさらに深まり、一人でも多くの血液難病患者の皆様がお元気になられることを願っております。

「NPO法人 関西骨髄バンク推進協会」成立について <報告>

「関西骨髄バンク推進協会」は、相互扶助の精神に立ち、骨髄バンク事業の充実発展とその働きの促進のため普及啓発と支援をはかることを目的として、1992年10月17日に設立し、10年間活動を続けてきました。その活動をさらに充足させるため、「特定非営利活動法人」NPO法人格取得に向けて運営委員会などで調査・検討を重ねた結果、2003年3月30日「NPO法人 関西骨髄バンク推進協会」の設立総会を開催し、正岡徹会長を設立代表者として、NPO法人設立認証申請を行うこととなりました。5月9日に、所轄庁(大阪府)へ、設立認証申請書を提出し受理されました。2ヶ月の公衆縦覧と、2ヶ月の審査を経て、8月29日に認証されました。その後、9月4日に法務局で設立の登記を行い、法人として成立いたしました。

役員体制

理事長 正岡 徹 (恵生会病院名誉院長・大阪府立成人病センター顧問)

専務理事 藤岡 八重子 ((財)骨髄移植推進財団 評議員)

理事 (アイウエオ順)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 加藤 小百合(奈良) | 7. 田畑 健雄(大阪) | 13. 福田 とみ江(兵庫) |
| 2. 加納 恵美子(大阪) | 8. 辻岡 美奈子(大阪) | 14. 藤岡 八重子(京都) |
| 3. 貴志 政人(和歌山) | 9. 新名 星子(大阪) | 15. 藤原 敏子(奈良) |
| 4. 神山 清子(滋賀) | 10. 西村 善美(大阪) | 16. 村上 耕一(兵庫) |
| 5. 佐竹 雅博(大阪) | 11. 二宮 英喜(兵庫) | 17. 安原 武志(大阪) |
| 6. 田代 貴久(大阪) | 12. 橋 孝明(大阪) | |

監事 福村 武雄(弁護士)

顧問 (アイウエオ順)

秋山 祐一(国立京都病院 小児科医長)

金丸 昭久(近畿大学医学部附属病院 血液・腎臓・膠原病内科教授)

河 敬世(大阪府立母子保健総合医療センター 小児内科部長)

佐藤 武男(大阪府立成人病センター 名誉総長)

柴田 弘俊(大阪府赤十字血液センター 所長)

椿 和央(近畿大学医学部奈良病院 血液内科教授)

原 宏(兵庫医科大学 総合内科学血液腫瘍科教授)

平岡 諦(大阪府立成人病センター 血液・化学療法科部長)

2003年度活動計画

今年度当初より、任意団体としての「関西骨髄バンク推進協会」は、NPO 法人格の取得申請時に提出している成立初年度の事業計画(事業実施方針)を活動方針として事業を行ってきました。9月4日に「NPO法人 関西骨髄バンク推進協会」として成立したことにより、その事業を正式に引き継ぎました。

1. 会報発行事業 関西協会ニュース発行 11月15日・3月(日にち未定)発行予定
2. 講師派遣事業 講演・勉強会・セミナーなどへの講師派遣 (随時)
3. 骨髄バンクドナー募集支援
 - ・ 集団登録会 2回 (11月3日・11月16日)
 - ・ 献血併行型登録会 25回
4. 骨髄バンクドナー登録説明員研修 説明員研修会 8月2日開催 他、個別研修随時
5. 骨髄バンクチャリティー事業
 - ・ 関西骨髄バンク・京阪さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会 (SCB チャリティーゴルフ大会)
*京阪さい帯血バンクとの共催事業とします。
2003年11月24日(振替休日・月) 於:有馬ロイヤルゴルフクラブ
 - ・ 骨髄バンクチャリティー健康囲碁大会
2004年2月に開催予定にて準備をしておりましたが、諸事情により延期の見込みです。
詳細が決まりましたら、改めてご案内する予定です。
6. 血液難病患者等支援事業 骨髄バンク支援 展示即売会
次回の大阪府立健康科学センターでの展示即売会は、12月4日(木)の予定です。

「関西骨髄バンク推進協会」解散について < 報告 >

1. 『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』成立（登記時）と同時に、任意団体としての「関西骨髄バンク推進協会」は解散いたしました。
 2. 「関西骨髄バンク推進協会」の会員を『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』へ移行しました。
 3. 「関西骨髄バンク推進協会」の財産を『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』へ譲渡（寄付）しました。
 4. 「関西骨髄バンク推進協会」解散時の決算は、『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』の理事会にて報告の後、会報紙上にて、全会員・支援者・協力団体等に報告します。（12月の理事会にて報告・次号に掲載予定）
 5. 「関西骨髄バンク推進協会」の事業の一切を『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』へ譲渡します。
- * 「関西骨髄バンク推進協会」の決算報告につきましては、3月発行予定の「関西協会ニュース第37号」に掲載いたします。
- * 『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』の定款・事業計画書等を閲覧ご希望の方は事務局までご連絡ください。
 （関西協会のホームページでも定款を閲覧いただけます <http://www5c.biglobe.ne.jp/marrow/>）

血液疾患患者支援団体「ラポール」について<会計報告>

前号にてお知らせいたしましたとおり、患者支援の活動は、『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』の事業として行っていくこととし、血液疾患患者支援団体「ラポール」は、『NPO法人 関西骨髄バンク推進協会』の成立に伴い、吸収合併されました。

会計報告（2003.9.4） （単位：円）

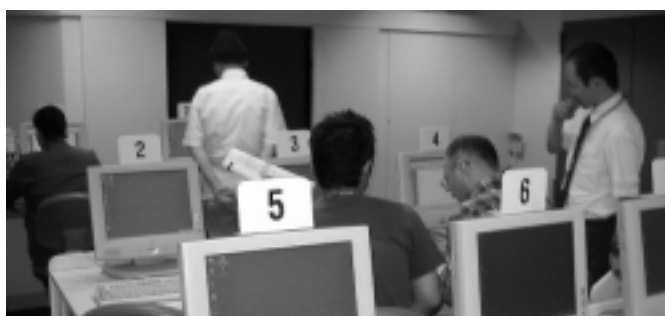
収入の部	2002 年度繰越		379,025
	ネズミ販売協力		19,445
	信楽焼販売協力		15,040
	クッキー販売協力		1,190
	貯金/預金利息		13
	計		414,713

支出の部			0
	計		0

残高 414,713

¥414,713 を NPO 法人関西骨髄バンク推進協会へ寄付する。

**移植者のための
パソコン教室**



骨髄などの移植を経験した人たちに自立へのきっかけをつかんでもらうことを目的に、移植者自立グループ「日本ブリッジフィールド」(橋 孝明代表)が、移植者を対象としたパソコン教室を無料で開いています。今年3月26日に大阪府立健康科学センター2階講習室にて初めて開催し、7月25日には2回目が開かれました。ワードやエクセルなどの基礎から、丁寧でわかりやすい指導が好評です。「ITの浸透でパソコンを使っただけの仕事があたりまえの現代。移植経験者の社会復帰にとっても必須のアイテムと考えて、みなさんのお手伝いができれば」「和気あいあいとした教室です。技術の習得だけでなく、移植経験者の情報交換の場になればと思いますので、お気軽にご参加ください」と当協会理事でもある橋さんは語ります。また橋さんの他、同じく移植経験者の原田芳洋さん・杉本郁夫さんが3人で指導にあたっています。

次回は11月18日(火) 17:00～19:00。当日参加もOKですので、ぜひお気軽にお立ち寄りください！

< お問い合わせ > 大阪府立健康科学センター 事務局 橋・原田 TEL:06-6973-3535

『骨髄バンクドナー登録会を終えて』

柏原ライオンズクラブ 会長 谷野閣保

柏原ライオンズクラブでは、2年前(2001年11月)に関西骨髄バンク推進協会から藤岡八重子さんに来ていただき例会で勉強会を致しました。それで、すぐに次の献血奉仕の時にドナー登録会を併行してやることに決定。日赤血液センターや柏原市の献血推進協議会などと折衝し、骨髄バンクの方にも下見にも来て頂いたのですが、本当に残念なことに実現できませんでした。

そして今年、大阪教育大学の大学祭で献血のご協力を願えないかと依頼に行きました。大学側は積極的に協力して下さることになったものの、献血車の手配がうまくいかずまたもや断念することに。しかし、せめて骨髄バンクの登録会だけでもできないかと橋渡しをさせて頂きました。(ドナー登録説明会実施)

最初の取り組みが挫折したもので、つい億劫になっていたのですが、ひょっとして今年度のライオンズクラブの献血奉仕の時に登録会ができないものかと相談したところ、今回は驚いたことに日赤血液センターや柏原市の献血推進協議会もすんなりO.K.

9月24日(水)登録会当日は、テントも建てられないほどの雨風でしたが、2名の登録者がありうれしく思います。これからの献血奉仕の際にも是非骨髄バンクのドナー登録会を開催して、市民の皆様の骨髄バンクへの理解を深めていただけたらと願っております。

『守口ライオンズクラブでの骨髄バンクドナー登録会の取組み』

守口ライオンズクラブ 02~03年献血奉仕委員会 委員長 福永敏隆

私が守口ライオンズクラブに入会したのが、99年の春でした。その秋に幹事報告の中に、秋の市民祭りで骨髄バンクドナー登録会があると報告があり当日私は、迷わず登録を致しました。その後骨髄推進財団より送って来る機関誌を毎回拝読していると、ひとつの疑問を感じました。「なぜ1年たっても登録者数が増えないのか」自分自身単純に考えると、守口ライオンズクラブで実施している献血奉仕で献血だけでは無く、同時に骨髄ドナー登録会を実施すれば増えるのになぜしないのか疑問を抱いていた所、3年目に献血委員長のポストが来たのと、02~03前池田会長より新しい事を積極的にしなさいと激励を受け、献血と同時にドナー登録会をしようと心に誓いました。北大阪赤十字献血センターと話し合い、最初は出来ない出来ないの回答でしたが根気良く交渉し02年10月より実施して頂けるようになりました。更に森之宮・北大阪・南大阪の3所長さんの協力を頂き、大阪府下全体で実施出来る様になった今現在では、ライオンズクラブ国際協会335-B地区で徐々に献血併行型骨髄バンクドナー登録会を受け入れて頂き大変感謝しています。献血も骨髄もどちらも人の命を救う事に違いはありません。ライオンズクラブ・企業以外の団体も積極的に取り組んで頂きたい事業です。

『難波グリーンガーデンでの献血併行型登録会』

地区普及広報委員 片岡 弘

10月13日(祝)当日は、朝から台風なみの暴風雨で大阪市内に警報が発令される程の天気でしたが、登録会を始める頃には雨は止みだし、少し安心しました。大阪長堀橋ライオンズクラブの方が精力的にチラシ配布や呼びかけを行って下さったこともあり、25名の方にドナー登録をして頂きました。(受付は31名)

朝方は天候が悪かったのですが、祭日の人通りの多い繁華街のため、骨髄バンク普及・啓発活動としては、絶好のPRの場であったと思います。ただ、事前に財団に問い合わせをして、わざわざ来て下さった19歳の方がいました。3ヶ月以内に20歳になることから、今回は説明のみ実施し、20歳になられた時に登録していただくことにしましたが、事前の年齢確認が不十分であったと思います。



また、今まで色々な手段で啓発活動を行っているにもかかわらず、骨髄バンク自体を知らなかった人もおられ、情報が溢れている現在では、なかなか人の心に届きにくいと感じました。しかしながら、病気になることや、事故に遭遇してしまう事はいつ起こるかわかりません。自分には関係ない事として考えるのではなく、誰もが身近な事として、ごく当然の事として、骨髄バンク活動などに協力できるような世の中になればよいと感じました。

『命の大切さ』

株式会社 日建設計 金岡博幸

はじめまして、私は日建設計で人権問題を担当しています金岡と申します。担当になって一番頭を悩ましたのは全社員を対象にした人権研修をどうするかでした。当社も当初は同和問題を中心とした研修を実施していました。5年ほど前から様々な人権問題に枠を広げ、女性の人権 子どもの人権、私が担当になってからは 知的障害者の人権 在日外国人の人権を手がけました。集合研修ではビデオ鑑賞や担当者のお話ではなく、当事者の生の声で感性に訴える研修を目指しています。本年、人権の究極は命の大切さを訴えることではないかと、骨髄移植推進財団のご協力を得て、東京・大阪・名古屋で計7回の研修を予定(既に4回実施)。社員の反応も良く、ドナー登録者も現れました。骨髄バンクの話が各社の人権研修に取り入れられ、1日も早くドナー登録者30万人が達成できるようにと願っています。人権研修を通じて、社会に貢献できることは担当者にとって至上の喜びです。

『大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会によるチャリティーフリーマーケット』

10月11日(土)大阪府立健康科学センター前にて、大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会の皆さんによる骨髄バンクチャリティーフリーマーケットを開催しました。昨年の7月27日に初めて行われてから今回で3回目となる取り組みです。

(関西協会ニュース第32号・第33号参照)

最初に当協会事務局の西村より、骨髄バンクについての基本的な説明とこの取り組みの意義が語られ、その後、高校生のメンバー全員で今回の売り上げと募金の目標金額を設定する話し合いが行われました。目標金額は合計で80,000円。少し高すぎるのでは...?との不安もある中、フリーマーケットは始まりました。

雨こそ降らなかったものの曇天で風が強く、商品やチラシが飛ばされたりする中、それぞれのメンバーが自分の役割を考えながら販売やチラシ配布に取り組んでくれました。今回もまた、商品の値踏みをする大阪のおばさんたちの迫力に思わずひるんでしまう場面もありましたが、時間がたつごとに、それさえも言葉たくみにかわず余裕がみられるようになり、たのもしい販売ぶりでした。

その結果、売り上げ69,392円、募金16,167円となり、目標の80,000円を大きく上回る85,559円をご寄付いただきました。

終了後のミーティングでは「初めての参加で緊張したけど楽しかった」「3回目の参加。だんだん売り上げが伸びて嬉しい」などひとりひとりが感想を述べ、「来年も参加したい」「また続けてがんばりたい」と、多くのメンバーが次の機会への期待を語って下さいました。本当にありがとうございました。(報告:事務局 加納)



お知らせ

- * 前号で紹介いたしました健康科学センターでのチャリティー展示即売会は、次回12月4日(木)10:00~16:00で開催を予定しております。「ねずみ工房」「とんぼ玉グループ」他の皆さんが参加される予定ですので、ぜひ、ご来場ください!!(変更になる場合がありますので、事前にご確認ください)
- * 来年2月の開催を予定しておりましたチャリティー囲碁大会は、時期を延期して内容を検討中です。
- * 第3回関西骨髄バンク・京阪さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会の開催が、いよいよ迫ってまいりました。今回は100名以上の参加申し込みをいただき、たくさんの企業・団体の皆さまのご支援を得て準備を進めております。次号(来年3月発行予定)の関西協会ニュースにて、当日の様子をご報告いたします。



< 関西協会のホームページがリニューアルオープン >

更新が滞りがちになっていた当協会のホームページをNPO法人成立に伴いリニューアルオープンしました。(HP作成者:当協会理事 佐竹雅博) 今後はイベントや登録会の情報・ボランティアの募集内容などもタイムリーに更新できるようになる予定です。皆さまのアクセスをお待ちしています!

<http://www5c.biglobe.ne.jp/marrow/>

骨髄バンクニュースダイジェスト

(骨髄移植推進財団発行のマンスリーレポート 8~10月号より)

1. 骨髄バンクを通じた移植が5000例に到達しました (8月)

日本骨髄バンク(当財団)を介する非血縁者間骨髄移植件数が、1993年1月28日の移植第1例実施から累計で5000例に到達しました。

2. 厚生労働大臣へ、保険適用と補助金増額等の陳情が行われました (8月)

3. 10月1日全米骨髄バンク(National Marrow Donor Program = NMDP)の患者負担金が改定されます (8月)

NMDPにおいて実施されるコーディネートについて新料金が適用されます。料金表は当財団ホームページに近日中に公開します。

4. 骨髄ドナーの健康被害発生について (8月)

8月中旬、日本骨髄バンクを介した骨髄採取ドナーに重大な健康被害が発生しました。ドナーの方は関東地区在住の30歳代男性で、術前健康診断では健康上問題はありませんでした。しかし、提供直後、血中酸素飽和度低下を起こしたため、肺CTスキャンなどの検査により肺の脂肪塞栓症が疑われました。そのため酸素吸入、ステロイドホルモンによる治療が行われ、ドナーの方は翌日には呼吸状態が改善しておられます。こうした事例は世界で10万件を超える骨髄採取で1件の報告があるだけで、極めてまれです。なお、骨髄採取完了後のことでしたので、患者さんには骨髄が届き無事に移植が行われました。当財団では、各認定施設に対し緊急安全情報を配信しましたが、今後もドナー安全に関して万全を尽していく所存です。本事例が過誤等であるかについては、調査後にご報告いたします。

5. 「移植希望患者へ寄付依頼」の新聞報道について (9月)

9月1日付共同通信配信記事(移植希望患者へ寄付用紙を配布、「脅迫と同じ」)が、1日夕刊と2日にかけて、日本経済新聞、全国のブロック紙、地方紙に大きく取り上げられました。患者さんへの情報提供として、また年二回発行している骨髄バンクニュースを送付の際に、郵便振替用紙(寄付用紙)がセットで挿入されています。過去数年間、このニュース送付では、ドナー登録者、登録患者、ご寄付者、医療・行政関係者、問い合わせ者等、全ての方々にこの取り扱いをしてきていたものです。患者さんの登録時の説明書には「寄付は強制でない旨を明記」しており、そもそも募金活動は、患者さんの負担軽減を目指して行っているものです。高額な患者負担金が存在する制度がベースとなっている問題です。関係者の皆様には、何卒、当財団の真意をご理解いただきたいと思えます。今回の新聞報道は、一方的で誠に遺憾です。今後、この取り扱いは、慎重に検討してまいります。詳しい事実経過、募金の考え方、取り組み状況等は、ホームページをご覧くださいませようお願いいたします。(http://www.jmdp.or.jp/whatsnew.html)

6. 「平成16年度概算要求」 コーディネート体制等の充実へ増額要求 (9月)

7. 当財団のホームページをリニューアルオープンしました。(http://www.jmdp.or.jp/) (9月)

お気づきの点、ご意見は広報渉外部、E-Mail Webmaster@jmdp.or.jp 電話:03-5280-8111までお寄せください。

8. 全国大会を開催。骨髄バンクにかける皆さんの思いが伝わりました (10月)

9月28日(日)、早稲田大学大隈講堂にて移植5,000例到達記念「骨髄バンク推進全国大会」を開催しました。5,000例の主役である移植を受けた患者さん、ドナーの皆様をはじめ450名余りの方々にご参加いただき、第一部の式典、5,000例の軌跡報告と感謝状贈呈、第二部では、菊間千乃氏と横山秀夫氏の対談、骨髄バンクに係った方々の「あの時」を語っていただきました。

9. ホセ・カレーラスのコンサート/「明日への扉」が各地で再び (10月)

白血病から世紀の復活を遂げたカレーラス氏の歌声を、今年も中外製薬様の特別協賛により全国のファンの皆様へお届けすることとなりました。チャリティーコンサートは、10月23日の大阪公演を皮切りに、名古屋、横浜、東京、札幌で開催。会場の募金と中外製薬様からのご寄付が、ホセ・カレーラス白血病財団と当財団に寄付されます。「明日への扉」は、スターを目指す女の子が、オーディションを目前に、主役の座とドナーの立場で思い悩む姿をエネルギーに描いたミュージカル。学校法人滋慶学園の学生が企画・制作・出演するこの作品は、毎年演出に変化があり、そのたび感動を得る作品となっています。チケットは一般3,000円、高校生以下無料。開催場所等はhttp://www.asuenotobira.jp/をご覧ください。

10. HLA 確認検査方法が「直接塩基配列決定法」(PCR-SBT)化へ (10月)

登録患者と適合ドナー候補者のHLA確認検査方法が10月27日採血分から変更となります。従来よりも検査期間が短縮されること、より正確なことからPCR-SBT法(直接塩基配列決定法)へ変更することになりました。検査費用の変更はありません。

お問い合わせは・・・ 骨髄バンクフリーダイヤル 0120-445-445

日本骨髄バンク骨髄提供登録者(ドナー)・骨髄移植希望者登録状況 (2003年9月末現在)

	全国	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録者数(9月末)	175,430	25,083	1,664	4,530	9,894	6,271	1,604	1,120
移植希望者登録数(9月末)	2,283	249	14	48	97	63	15	12

各地の活動報告

- 8月**
 8/2 説明員研修会・関西協会ニュース封入作業（関西）
 8/2 セレッソ vs グランパスエイトにて啓発（さかい・関西）
 8/4 信楽町役場・保健センター訪問、事前登録説明会について相談（滋賀）
 8/6-7 県内全市町村の窓口・保健所・保健センターに「事前登録説明会実施ご協力お願い」発送（滋賀）
 8/9JR 和歌山駅前にてティッシュ・チラシ配布（和歌山）
 8/23 セレッソ vs レイソルにて啓発（さかい・関西）
 8/29 県内の事業所 58 ヶ所に「事前登録説明会実施ご協力お願い」発送（滋賀）
 8/30 セレッソ vs ベガルタにて啓発（さかい・関西）
- 9月**
 9/2 「事前登録説明会（信楽町開発センター）」（滋賀）
 9/2H15 和歌山ビッグ愛にて骨髓バンク担当者会議（和歌山）
 9/3 大阪生野ライオンズクラブ例会にて講演（関西）
 9/6 JR 和歌山駅前にてティッシュ・チラシ配布（和歌山）
 9/13 セレッソ vs パールサンガにて啓発（さかい・関西）
 9/18 健康科学センターにてチャリティー展示即売会（関西）
 9/22 大阪東淀ロータリークラブ例会にて講演（関西）
 9/27 関西協会理事会
 9/27 セレッソ vs アントラーズにて啓発（さかい・関西）
- 10月**
 10/5 「滋賀県臓器移植・骨髓移植推進キャンペーン（県主催：街頭啓発）」（滋賀）
 10/5 「おうみ市民活動屋台村（大津）」にて啓発（滋賀）
 10/5 尼崎市民まつりにて啓発（関西・大阪）
- 10/5 福知山市民まつりにて啓発（和の会）
 10/11 青少年赤十字高校生メンバーによるチャリティーフリーマーケット（関西）
 10/11-13 「信楽陶器まつり」にて啓発（滋賀）
 10/12 南海堺東駅前にて骨髓バンクドナー登録会のチラシ配布（さかい）
 10/19 セレッソ vs ガンバにて啓発（さかい・関西）
 10/19 「おおつ健康フェスティバル」にて啓発（滋賀）
 10/19 「東近江地域農林水産まつり」（能登川町）にて啓発（滋賀）
 10/20・21 びわこ放送『ニュースプラス1』にて特集「骨髓バンク」（滋賀県制作）放映（滋賀）
 10/22 日建設計「人権研修会」にて講演（関西）
 10/26 「さかいボランティア市民活動フェスティバル」にて骨髓バンクドナー登録説明会（さかい）
- 11月**
 11/2 極真会大会にてチャリティー展示即売会（和の会）
 11/2 大阪教育大学「神霜祭」にてドナー登録説明会（関西）
 11/2 大阪府立大学「白鷺祭」にて勉強会（関西）
 11/3 「二五八まつり（八日市市）」にて啓発（滋賀）
 11/8 セレッソ vs トリニータにて啓発（さかい・関西）
 11/9 「ヤングフェスティバル」にてチラシ配布（さかい）
 11/15 県薬務課 人権フェスティバルにて「休日ドナー登録会」（和歌山）
 11/24 第3回 SCB チャリティーゴルフ大会（関西）
 11/24 セレッソ vs エスパルスにて啓発（さかい・関西）
 11/29 鳳高校ボランティア部バザーにてチラシ配布（さかい）

ドナー登録会の報告

8月～11月 当協会・加盟団体分

年	月	日	曜	実施形態		場所	登録者数
2003	8	3	日	献血併行	京都	福知山ポンチフェスタ	5
2003	8	11	月	献血併行	京都	峰山町総合福祉センター	4
2003	8	12	火	献血併行	京都	福知山武道館	4
2003	8	19	火	献血併行	京都	綾部市役所	7
2003	8	27	水	献血併行	京都	八木町中央公民館	4
2003	9	7	日	献血併行	大阪	茨木市保健医療センター	12
2003	9	24	水	献血併行	大阪	近鉄国分駅前	2
2003	10	10	金	献血併行	大阪	京阪守口市駅前	20
2003	10	13	祝	献血併行	大阪	難波グリーンガーデン	25
2003	10	19	日	集団登録	和歌山	海南保健所	7
2003	10	20	月	献血併行	京都	瑞穂町山村開発センター	4
2003	10	27	月	献血併行	京都	夜久野町役場	2
2003	11	1	土	集団登録	和歌山	岩出保健所	8
2003	11	2	日	献血併行	京都	極真会館	8
2003	11	2	日	献血併行	大阪	守口市市民まつり	24
2003	11	3	祝	集団登録	大阪	大阪府立大学「白鷺祭」	2
2003	11	15	土	集団登録	和歌山	人権フェスタ	
2003	11	16	日	集団登録	大阪	堺市役所高層館	
2003	11	18	火	献血併行	大阪	三井住友海上火災	
2003	11	23	日	集団登録	和歌山	高野口保健所	
2003	11	30	日	集団登録	和歌山	新宮保健所	

心よりのご寄付に感謝申し上げます

2003 年 7 月 16 日 ~ 10 月 31 日(敬称略・順不同)

個人寄付

金澤鐘揚	6,000 円	倉田薫	3,000 円	政本康子	3,000 円	玄正男	10,000 円
森下正	4,000 円	伴美和	5,000 円	高橋章子	100,000 円	ネズミ工房	13,820 円
井上春枝	7,000 円	土本宗丘	5,000 円	荒井悦子	3,000 円	とんぼ玉グループ	14,490 円
長谷弘美	1,000 円	神谷ゆりえ	10,000 円	河佐浩	3,000 円	匿名	5,000 円
石嶺誠一郎	3,000 円	白壁歌子	3,000 円	砂田節子	3,000 円	匿名	500 円
清水鉄次	3,000 円	富田武弘	3,000 円	寺本美津子	3,000 円	福田とみえ	
谷喜代司	3,000 円	遠山孝子	3,000 円	鄭順一	4,000 円	テーブル・椅子セット	
清水美智子	3,000 円	西田淳子	5,000 円	三宅修一	7,000 円	有志多数	バザー用品
藤岡八重子	10,000 円	今西みき子	3,000 円	笹井昇	3,000 円		

団体寄付

大阪サッカークラブ(セレッソ選手会)	90,000 円	東大阪大学短期大学部	10,000 円
大和郡山ロータリークラブ	10,000 円	大阪ロータリークラブ	10,000 円
福永建設株式会社	20,000 円	大阪東淀ロータリークラブ	100,000 円
滋賀県歯科医師会	10,000 円	茨木ローズライオンズクラブ	60,000 円
奈良県赤十字血液センター	3,000 円	守口ライオンズクラブ	50,000 円
医療法人コスモス会フジモト眼科	10,000 円	第 11 回チャリティー歌謡フェスティバル(募金)	12,510 円
フジモト眼科ギャレ大阪分院	10,000 円	土師商友会	10,000 円
フジモト眼科天王寺ミオ分院	10,000 円	大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会	85,559 円

団体賛助会費

姫路ライオンズクラブ	10,000 円	大阪ちゃやまちロータリークラブ	10,000 円
大和郡山ロータリークラブ	10,000 円	小野ロータリークラブ	10,000 円
三田南ロータリークラブ	10,000 円	フジモト眼科ギャレ大阪分院	10,000 円
柏原ライオンズクラブ	10,000 円	フジモト眼科天王寺ミオ分院	10,000 円
神戸ポートライオンズクラブ	10,000 円	舞鶴ライオンズクラブ	10,000 円
豊中中央ライオンズクラブ	10,000 円	豊岡ロータリークラブ	10,000 円
大阪生野ライオンズクラブ	10,000 円	豊岡円山川ロータリークラブ	10,000 円
明石北ライオンズクラブ	10,000 円	国際ソロプチミスト福知山	10,000 円

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 郵便口座 00970-3-64270

関西骨髄バンク推進協会

* このニュースレターは会員および関係者の皆様にお送りしております。今後、送付を希望されない場合は、お手数ですが当協会までご連絡くださいますようお願いいたします。

各会ではボランティアを募集しております

- * 骨髄バンクを応援するさかい TEL&FAX:072-273-0992
- * 骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0773-27-7693
- * 大阪骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:06-6349-2002
- * 和歌山骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:073-451-9528
- * 滋賀骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0748-83-0259
- * 奈良造血幹細胞移植を支援する会 TEL&FAX:0743-57-8050

NPO法人 関西骨髄バンク推進協会 TEL&FAX 06-6977-2123

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第三部長室内

E-mail : kankyo@mtc.biglobe.ne.jp URL : http://www5c.biglobe.ne.jp/~marrow/